



台風への備え

台風は、毎年のように日本を襲い、大きな被害をもたらす自然災害の1つです。台風の発生が多くなる季節に備え、事前にできる対策を行いましょう。

2019年の台風被害

2019(令和元)年9月5日に発生した「令和元年房総半島台風(令和元年台風第15号)」は、千葉市付近に上陸し県内各地で記録的な暴風となりました。千葉県を中心として約93万戸で停電が発生し、一部地域では停電の長期化による被害も発生しました。

同年10月6日に発生した「令和元年東日本台風(令和元年台風第19号)」は、伊豆半島へ上陸し、静岡

県や新潟県、関東甲信・東北地方など広い範囲で記録的な大雨となりました。史上最多の13都県に大雨特別警報が発表され、多くの河川が氾濫し、土砂災害や浸水害に

より甚大な被害が発生しました。

畜産業においても2つの台風による打撃は大きく、関東や東北地方を中心として、家畜や畜舎等に大きな被害をもたらしました(表)。

表. 畜産関係被害の概要

主な被害	台風15号 (2019年12月15日時点)		台風19号 (2020年4月10日時点)	
	被害数	被害額(億円)	被害数	被害額(億円)
家畜	471,097頭羽	8.2	278,425頭羽	2.5
畜産物(生乳等)	1,733.8t	2.2	167.0t	0.2
畜産用施設	1,232件	113.6	385件	7.1

農林水産省ホームページ(<https://www.maff.go.jp/j/saigai/>)をもとに作成



写真1. 倒木が直撃した畜舎の屋根



写真2. 倒壊した牛舎の下敷きになったトラック

被害を受けた生産者の声

- こんなに大きな台風が来るとは思わなかった
- こんなに長く停電するとは予想もなかった
- 非常用発電機はあったが、日頃使用していなかったため動かなかった
- 非常用発電機を動かす燃料(軽油)を購入するため、何度もガソリンスタンドに行く必要があった
- 停電、電話不通のため、市町村が行っている対応策等の情報も入ってこなかった



台風対策のお願い

- ☐ 畜産施設は、損傷・倒壊等を避けるため、必要に応じて補修を行う
- ☐ 畜舎の周囲に倒れそうな木がないか点検する(写真1)
- ☐ 倒壊する可能性がある畜舎の近くに車などを置かない(写真2)
- ☐ 畜舎や堆肥舎などの周辺に排水溝を掘り、降雨をスムーズに排出できるようにする
- ☐ 人や家畜の避難場所を確認しておく
- ☐ 飼料・燃料は、少なくとも家畜を1週間以上飼養するために、必要な在庫量を確保。飲水も貯留タンクの設置やくみ上げポンプなどを準備する
- ☐ 定期的に発電機の点検をしておく
- ☐ 農協やくみあい飼料への連絡手段を確認しておく